

■ 二つの PBL(プロジェクトベースドラーニングとプロブレムベースドラーニング)の違い

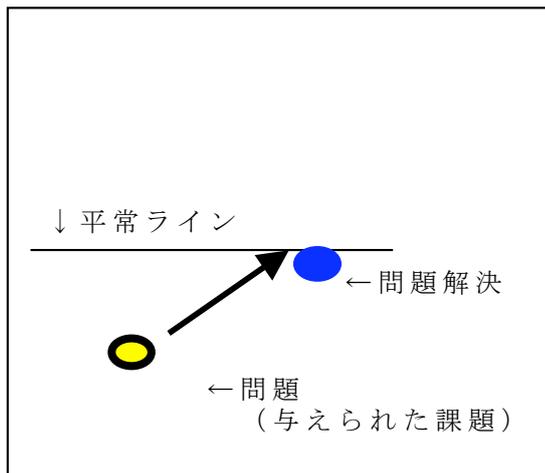
「プロジェクト学習」と「問題基盤型学習」の違い

未来教育プロジェクト学習は問題を解決する要素は盛り込まれていますが、問題を解決することが最終ゴールではなく、ビジョンを実現することがゴールです。

問題は解決しても平常(のライン)になるだけですが、ビジョンを実現することは平常にとどまらず、さらに夢や希望へ向かい上昇する高いゴールを目指すことになるのです。それは「問題を解決する」よりずっと前向きなものに学習者の心理を変えます。人はポジティブな気持ちで向かうほうが、潜在的な能力もパフォーマンスも発揮しやすくなるのです。意志をもち前向きに挑戦してほしいとおもうなら、プロジェクト学習は大変に効果を発揮する手法なのです。

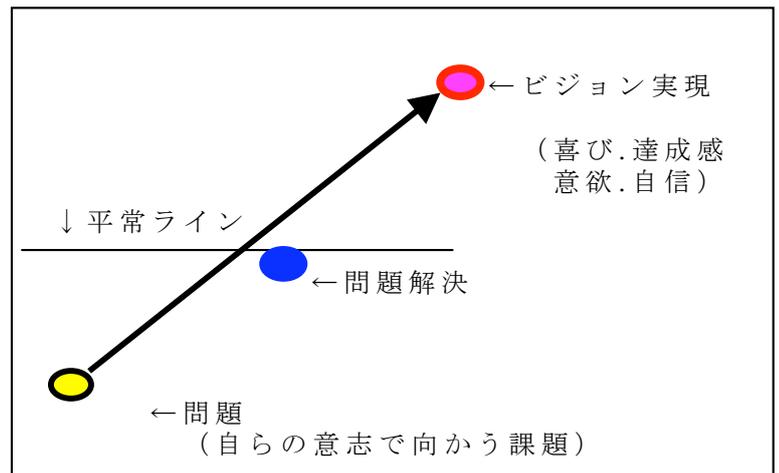
問題基盤型学習

(Problem Based Learning)



未来教育プロジェクト学習

(Project Based Learning)



PBL: Problem Based Learning とは--学生は与えられた課題を動機付けとして学習する。問題状況を利用して知る必要がある学習活動を行う(教師指導型)。(医学書院「PBL-判断力を高める主体的学習」より抜粋)

未来教育-プロジェクト学習: Project Based Learning とは--「意志ある学び」を理念としプロジェクト手法による学習手法。ビジョンとゴールを明確にして自ら目標へ向かう学習。自分で考える力、情報を見極める力など、21世紀を生きる力が身につく。鈴木敏恵が設計、実践提唱している。現在全国の学校や医療分野などのプロフェッショナル教育に広がっている。コンピテンシー育成を実現する21世紀の学習手法。